

目標達成計画

作成日: 平成 22年 12月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		○教育・研修 スタッフの全員が、認知症についての知識を十分に理解しているとは、必ずしも言い難い。現場で実際のケアする上で基盤となる知識(基礎・接遇・最新情報)を習得し、認知症ケアのスペシャリストと呼ばれるレベルまで向上したい。	スタッフ個人個人のケア技術のレベルアップを図り、さらにチームとしての効率的で合理性のある個別ケアのレベルアップを図る。 ベテランスタッフもビギナースタッフもいつでも高水準で均一的なケアができるグループホームを目指す。	①接遇教育(あいさつ、髪の色・長さ、言葉遣い、服装) ②認知症(とは～、中核・周辺症状、対応方法、最新情報)研修・自己啓発 ③リハビリテーション療法の導入(できるところから) ④身体ケアの技術習得(勉強会・研修) ⑤リーダー研修実施による組織力の強化	6ヶ月
2		○業務の効率化 (1)調理の業者委託化 大半の入居者さんが一緒に買物に行かれないようになった為、現在では殆ど食材購入についてはスタッフのみで行っている。また、3食ともスタッフの手作りで調理するため台所での作業が主となり、入居者さまへの寄添う時間が取りにくくなっています。 (2)勤務シフトの変更(配置人員変更)	①毎日、目の前の業務(料理、洗濯、掃除、食介、トイレ誘導等)に追われるだけでなく、認知症ケアの根本である、入居者との「語り」(世間話、昔話、入居者の一番よかったところのお話など)の時間を増やしていく。 ②神戸市が定めた配置基準人員に比べ、多く配置しており、これは主に食事にかかる業務負担を考えてのことでした。基準の配置人員に近づけ、合理性のある要員を配置します。	①デイサービス厨房に調理委託化(昼・夕食) 現在、デイサービス厨房でデイサービス利用者と職員の昼食を委託しており、これにカルム箕谷入居者18人の調理を委託する。 ②朝食は従来どおりカルム箕谷スタッフが調理する。調理に必要な食材は「物品請求」で事務課に依頼する(パンについては従来どおり業者による宅配を利用)	6ヶ月
3		○コンプライアンス(法令遵守)並びに規律(モラル、ルール、規程)、プライバシーの保護、接遇など一部の職員について意識が希薄である。	「服務規程」を全職員が理解するよう、採用時及び定期研修などで説明し徹底を図る。	①私用携帯電話の使用制限 職場に持ち込まない ②喫煙制限 全ての場所で禁煙にするか、時間を定めるか ③コンプライアンス(法令順守) マニュアルの作成(職員のための行動指針)等	6ヶ月
4		○地域との交流 5年前にグループホームの「地域密着型サービス」の新しいカテゴリに含まれて以来、積極的に具体的な動きがあまりできていない。	地道な活動により、地域との係わりを深めて行きたい。	①地域のあんしんすこやかセンター主催の認知症、感染症、災害等に関する会合への参加 ②地域住民にも参加いただけるイベントの定着 ③「尺八演奏」「書道教室」など地域ボランティアの技能を生かしたアクティビティへの取り組み	24ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。